



とよおか

第 28 号

平成17年7月29日

議会だより

発行/豊丘村議会 編集/議会だより編集委員会 印刷/ユニプリント株



佐原 大平の唐澤修治さんのスイレン

6月定例会

6月定例会のようす、請願・陳情	2～3
予算特別委員会の質疑から、議会活動報告	4～5
追跡	6～7
一般質問のようす	6～12
委員会だより、新しい議会構成	12～13
「私の一言」、私がんばっています、編集後記	14



この議会だよりは、再生紙シュールコートを使用しています

は正確な情報公開を

平成十七年度一般会計補正予算は、一千五百四十万九千円を追加し、予算総額を二十八億五千九百四十万九千円とする。南小の井戸水、水道の新水源の確保等活発な意見が出された。

南小学校の給排水設備改修工事について

川野議員 南小学校の飲料水として利用している井戸水の水質検査の結果がやや不適切と言われたが、飲み水として危険であるという成分かどうか説明してもらいたい。

森田教育長 学校の飲み水については、一年に二回の定期検査を行っている。今まで南小学校の場合は井戸水が主体でやってきた。

関東豊丘会への自動車借り上げ料について

北澤議員 豊丘村五十周年記念に合わせ十一月十二日に「とおかまつり」に関東豊丘会の人たちを招待するためのバス二台分として五十二万五千円が計上されているがどういう経緯でこういう話になったのか。

村長 昨年関東豊丘会へ出向いた時に、五十周年記念をするので招待したいと言ってきた。

北澤議員 何か特別な事をするのか。

村長 産業振興につながるように季節がらリング狩り等を実費でやっても良かったらと考えている。

豊丘中学校の給排水設備工事について

北澤議員 仮設校舎を建てるにつれて壊したと言うプールの給水管だが、石綿管を使用している。業者の責任として直させて延命させるのか、古かったので後で敷設替えすればいいのではないかと言うことになったのか。

森田教育長 最初から水道のことについては心配をしていた。特に仮設校舎のあるところは、何回も工事をしている。慈恵園の近くから引いてきている水がある。それをプールに使用していた。それは石綿管で敷設してあった。図面を見てこれなら大丈夫という事で仕事にかかった。結果として傷つけてしまった。石綿管のために簡単に補修が出来なかった。今度は教員住宅の方から持つて来るのではなく体育館の方から引き直しをお願いしてある。

議会活動報告

- 四月
- 二日 保育所入園式(社会委員)
- 四日 議会だより編集委員会
- 五日 小中学校入学式
- 豊丘村観光協会総会
- 十四日 土木懇談会
- (産業建設委員)
- 十五日 議会だより編集委員会
- 二十日 議会運営委員会
- 二十二日 中学校建設委員会
- 二十六日 第二回臨時議会
- 全員協議会
- 五月
- 七日 水防訓練
- 十日 議会だより編集委員会
- 十日 中学校起工式
- 十三日 北部ブロック正副議長・事務局長会議
- 十七日 土地開発公社理事会
- (正副議長・下平(豊)・唐沢)
- 広域連合議会
- (正副議長)
- 郡町村議会議長会総会
- (議長)
- 二十日 南信州新聞社五十周年記念式典(議長)
- 商工会第通常総会
- (議長・総務産建委員)
- 二十三日 国保運営協議会

苗木代についての取り組みは

川野議員 苗木代の三十万とい

予算特別委員会の質疑から プライバシー以外

うのは、緑の募金の配分金を使つてのことか。

村長 中学の改築に伴って中庭も整備するので記念という事で今年に中学校の庭園に使いたい。

川野議員 村民に以前は花の苗木を配布してくれたが、今はそうゆうことはないのか。

村長 個人的にはないと思う。

川野議員 五十周年の記念として花の苗木を配布してほしいのか。

村長 私も後からそう気がついた。もっと早く取り組めば方法があったと思う。

的坂線の改良工事について

丸岡議員 六月補正で追加することは、どういう状況なのか。

森田課長 カーブ改良と改良延長を伸ばしたいということである。

丸岡議員 財源の有効活用から、補正予算を計上する際には、積み残しする事業への予算配分をし、社会資本への活用にもつと意を用いる姿勢が必要ではないか。

村長 的坂線の改良工事は三年前から事業に着手している継続

水道の新水源確保が必要

唐澤議員 林の新水源は給水中止、旧水源も一日五十トン採取がやっとで田村の水源から補給している。早急な新水源確保が必要、その対策は。

森田課長 河野と田村で二本の井戸を掘削二箇所接続し補助事業を前提に実施したい。

唐澤議員 林新水源の使用を中止している状況を、なぜ議会や村民に正確な情報公開がされていないのか。

森田課長 林新水源は三年前に約三千万円で掘削、平成十五年四月の地震以後水質の悪化が進み昨年の水質検査で砒素が検出されたのを期に給水を停止しポンプをはずして水質の推移を監視しつつ対策を検討している。

村長 深井戸(百五十メートル)の場合硝酸性窒素等は下がるが砒素系の危険性が指摘されていたように、林新水源に砒素が検出される結果となっていました。議会等に報告しなかったことに



については反省している。

唐澤議員 プライバシー以外は正確な情報公開が必要である。水源の場所は慎重に行うこと、どの場所を計画しているのか。

森田課長 河野は現水源の近く、田村は役場の敷地内を計画している。

菅沼議員 掘削の予算の総額はいくらになるのか。

森田課長 当初で二千五百万円補正で三千四百九十万円で総額約六千万円となっている。



役場敷地内で自噴している試掘井戸

- 二十四日～二十五日 町村議会
- 議長研修会議
- 二十五日 シルバー人材センター
- 総会(副議長)
- 二十六日 議会運営委員会
- 社会文教委員会
- 議会委員長会議
- 三十一日 定例全員委員会
- 議員定数研究委員会
- 六月
- 一日 分権改革実現全国大会
- 二日 大分県九重町議会来村
- (議長・社会文教委員会)
- 三日 県町村議会議長会臨時総会(議長)
- 六日 第一回定例議会開会
- 予算特別委員会
- 全員協議会
- 七日 村営バス入魂式
- 教育懇談会
- (社会文教委員)
- 八日 中学校建設委員会
- 議会だより編集委員会
- 九日 総務産建委員会
- 十日 社会文教委員会
- 十三日 議会一般質問
- 総務産建委員会
- 十六日 予算特別委員会
- 議会再開
- 二十日 全員協議会
- 議員定数研究委員会
- 二十八日～二十九日 三遠南信建設促進要望活動(議長)

いっぱんしつもん

質 常勤・非常勤公務員の定数について

答 思い切って改革

菅 沼 明 人

質問 政府の経済財政諮問会議では総人件費改革の基本方針を今年の秋までにとりまとめ、平成十八年度予算へ反映させるよう求めています。

豊丘村の平成十七年度当初予算で人件費は約六億三千万円、歳入の村税は約五億三千万円で人件費の方が約一億円村税より多くなっております。

非常勤特別職の定数と報酬について、行政改革での検討内容の経過と今後の計画について答弁を求めます。

村長 一口に村と直接関係してあります議会議員をはじめ、報酬を支給しているために保険にかけているあらゆる委員の人数は、今年七百四名で二年前とは二百十九人減少しております。

昨年の行政改革検討委員会の席においても、ある委員から思い切った改革を提言いただき本年実行いたしました。

報酬の年額、月額を「日額制報酬」についても、今年の行政評価検討委員会などで検討を深めていただきたいと思います。



役場庁内の様子

質問 一般職の経過と今後も更

に人件費の抑制のためにどんな手法を考えておるか。

村長 平成十七年四月一日現在正規職員六十八名、嘱託職員二十七名と二年間で正規五名、嘱託五名減っております。

平成二十六年までに定年により退職する職員が七名見込まれますが、事務の共同運営、施設、組織の民間委託、合併問題、早期退職勧奨も含める中で、常に定数の減少に努めていきたいと考えております。

質 子供の読書活動の推進は

答 学校図書の実践で

松 井 尚 子

質問 平成十三年十二月、子供の読書活動推進に関する法律が施行されている。

また、平成十四年度から新学習指導要領のもと、総合的な学習の時間において多様な教育活動を展開していくために、学校図書の実践が必要とされる。公立義務教育諸学校の学校図書館の図書購入のために地方財政措置がとられたと思う。地方交付税として措置された図書の前算は各学校にどの様に配分されているのか。

森田教育長 予算の関係であります。豊丘村には学校図書というふうなことで、一般財源の中に含まれて支給されている額は約九十万円です。

村の予算措置と致しましては南小学校へ百万円、中学校へ百万円、北小学校に五十万円の予算を計上しており、図書館の充実を図っている。

質問 学校図書法で義務付けられる、司書教諭等の配置状況について。

森田教育長 その法律による司書教諭の配置については、豊丘



親子で読書

の三校につきましては義務化されておらない。

先生方の中にそういう資格をもった先生もいます。

一人の司書を村費で三校に一人ですが配置しています。

不妊治療について

質問 不妊治療の助成について松川町、阿智村は、十五万円町

村で負担してくれるとのこと、

本村でも一部を負担することはできないか。

村長 現在さらに研究する中で検討をしている。

追 一月会が

跡! 村内視察

一月会は今回の選挙で初当選した七名の新人議員と返り咲いた一名の元職の計八名からなる勉強会を中心とした集まりである。

前半の二年間は財政や各保険のしくみを学んだり、他町村の見学、豊丘村での講演会の主催など、先輩議員や村職員とも連携して有意義な活動を行って来た。

三月には牧野飯田市長を招き飯伊地区の経済的自立度向上を目指す講演会を開催した。

今回はもと豊丘村を探ろうと企画を立て、村内の旧産業廃棄物処理場跡地と、中山間部の農地の現状を半日かけて見学した。

最初に藤の木にあった豊丘産業廃棄物処理センターへ向かう。ここは平成十五年に廃止になるまで十七年間に及び二千二百七十七トンの安定型産業廃棄物と呼ばれる、レンガ、コンクリ、ゴムくず、ガラスくずなどが埋め立てられた。昨年まで毎年行われた水質検査では異常は認められなかった。

次に最も古い一般廃棄物最終処分場跡地の大入山へ向かう。車を降りて約十五分、ようやく跡地らしき所へ到着するも、廃止から二十年余が過ぎて、木が生い茂り、地形も変わってしまった、当時の面影はなくなっている。山肌から空きビンが見え隠れしている。現在はもう水質検査はしていないそうである。

次に掘立一般廃棄物最終処分場である。平成十五年度に廃止されるまで五千七百六十立方メートルの家電類、布団、焼却廃ガラスなどが埋め立てられた。底には厚いゴムを張って、水分が漏れない方法になっている。

中山間地を抱える有害鳥獣と遊休農地問題は、その深刻さと問題解決への方法の複雑さとで大変重要な課題である。

追 一月会が

その中で昨年度、村の単独事業である「げんき農業」と「有害鳥獣駆除対策事業」を活用した、河野地区、経塚原、経竹会(会員六名)の竹の子狩り用の竹林整備事業における電気柵。同じく「げんき農業」と県の「遊休農地基盤整備事業」を利用した、壬生沢地区、向平の栗栽培事業、会員五人の電気柵を視察した。シカ、イノシシは鼻の先が電気に触れる事を嫌う習性を利用して夜間電流を流すとの事、従来の電気柵にくらべ、しっかりとした出来栄の柵で、有害鳥獣に対し有効な効果が表れる事を期待したい。

今後も議会議員として知識を磨く勉強と、現場主義を両立できるよう、活動を続けて行きたい。



一月会の村内視察

質 ゴミの正しい分別収集について
答 PRに努め集落へも出向きたい。

川野孝子

質問 社会文教委員会では、昨年完成し現在稼働している、北の沢最終処分場の視察を行った。思った以上にゴミの量が多く、埋め立てゴミではない種類のゴミ(あきかん、ペットボトル等)の目につき驚いた。

この処分場を一日も長く有効に使用をしていく、それには、極力正しいゴミの分別が必要である。住民の意識も改めて問われるが村の行政指導等について聞きたい。

村長 確かにゴミの量は多いと感じた。粗大ゴミについては昨年九月が無料の最終回という事で予想以上のゴミが出され、中でもタンス、戸棚等の家具類が多く、仕方なく埋め立てゴミとした。今後より分別が徹底出来るよう広報とか有線の文字放送等を利用してのPR、各集落への説明会も要望があれば出向いていきたい。

質問 埋め立てゴミの村の指定袋のまま埋めて将来心配はないか。
産業建設課長 成分的には、ど



無料の最終回...ゴミの山

していない。科学変化を起さないと一応理解しているのだから心配ないと考えている。
嘱託職員の雇用保険料納入方法について

質問 嘱託職員の雇用保険料が現在一括納入するようになって

いるのか。
村長 事業主が立て替えている所は多いと思う。豊丘村では若干無理でも一括納入願いたい。

質 社協と村との関係は
答 基本的には自主運営

片桐秀人

質問 介護保険発足で社会福祉協議会が行っている事業が、それ以前と比べて大きく変化して来ている。現在は社協の理事・職員の努力で好成績を上げている。

こうした経営環境の時だからこそ将来の経営責任と村との関係について伺いたい。現在国においては介護保険の改定が審議されている。食事、ホテルコストなど利用者負担の導入で、利用抑制をしようとしている。

更にはやしの質問 社協の理事評議員は各種



社協の事務所

質問 介護保険発足で社会福祉協議会が行っている事業が、それ以前と比べて大きく変化して来ている。現在は社協の理事・職員の努力で好成績を上げている。こうした経営環境の時だからこそ将来の経営責任と村との関係について伺いたい。現在国においては介護保険の改定が審議されている。食事、ホテルコストなど利用者負担の導入で、利用抑制をしようとしている。

質問 社協の理事評議員は各種
村長 社協の定款には、自主的に経営基盤の強化を図るとされているので、自主運営で努力してもらいたい。
大規模改修の時は双方協議すると言うことで、昨年覚書も交しているが、負担について明確にした方が良くも思っている。
助役 経営責任は、内容によっては理事の責任だが、社会が激しく変化するような場合は、理事だけでは無理なので、村に求めることもあると思うが基本的には理事の責任であると思う。
質問 社協の理事評議員は各種
村長 その段階で検討し、村の考え方を述べることにしたい。

質 少子化・人口減、その対策は
答 すべてにかかわり幅広く取り組む

松村正三



子どもたちに明るい未来を

質問 少子化するわち年少人口の減少は、生産年齢人口の減少にもつながる大きな問題。

そこで、村長は定例会冒頭で人口増対策、少子化対策について、魅力ある村づくり、あるいは関連事業の継続した努力の必要性をあげられた。

少子化の中に於ける人口増対策、これは単年度効果を期待出

来るものでなく、継続した、しっかりととした事業の計画と展開がされなければならぬと思うが、住宅対策などのハード面での事業を含めた生活環境整備を柱とするのか、あるいは子育て支援等ソフト面での支援策を柱とするのか、何を柱にどう事業展開されるつもりかお尋ねしたい。
村長 少子化、人口減、先を見た場合今から色々な取り組みをしていかねばならないということ、村民挙げて色々な施策について理解しあってもらいたいということ、少子化となる予測と深刻となる実態のピークをいかにかなければならないとも考える。
対策への取り組みでは、男女の交流の場作り、結婚対策、子育て支援、住宅対策、産業振興

質 環境保全のとりにくみについて
答 行政と住民が共に具体的行動を

片桐真理子

質問 地球の温暖化により異常気象が現われている。豊かな生活を維持するため大量のエネルギーを使い続けてきた結果である。もつたいないという日本人の知恵を再認識していかねばならない。

このためにも小さい頃から環境教育が必要であると思うが、マイバック運動の取り組みも含め行政としての考えを伺いたい。
村長 パンフレットは作成しているが言葉だけでなく

具体的な行動に入らないと解決はしない。行政だけでなく関心を持たれる方と共にとりくんでいく必要があるかと思う。
環境教育については総合学習で自然体験や清掃活動から学びとってくれていると感じる。
森田課長 マイバック運動については、いろいろな団体の会合に出向いた時にPRをしていきたいと思う。
就業の場づくりについて
質問 今の時代は健康で意欲があれば七十才位までは働きたいという思いがある。しかし年齢制限や雇用条件があり難しい現状である。身近な地域で働ける場所が将来を考えると必要であると思う。働く意欲の向上で介護予防の役割を



見事な竹細工に私も挑戦

質 子育て環境充実を

答 今すぐには出来ない

子育て支援計画について

前沢 光昭

質問 三月に豊丘村子育て支援計画が発表された。国が全国に義務付けた計画作成だが、今後の豊丘村の子育ての方針となるもの、子育て支援は財政が厳しいとか考えが違うと言っている。ばしなくて済むものではない。

下条村では財政が厳しいなか、中学校卒業まで子供の医療費無料、それと若者向け低家賃の定住住宅支援をしている。つまり村長の政治姿勢だ。東京の江戸川区も東京都の出生率一・〇を下回る中、江戸川区は一・三〇で中学卒業まで無料としている。豊丘村の第四次振興計画でも数値化目標し位置付けている。

村長の政治姿勢は
村長 これから厳しくなる財政状況のなかでの計画。近隣でも医療費支援、中学卒業、小学校卒業までおこなっている。内部でも話が出る事がある。しかしこれからの財政見たとき、今ここで言う訳にいかない。

見れば問題ないし、将来もやり様ではないか。
森田課長 要望は出ているが、十六年度上限額を広げたばかりなのでちよつと様子を見ています。研究は深めたい。

質問 現在上限二十万円、重機使用代かかる経費の二十%である。上限額の引き上げか重機の経費の枠を広げられないか。土木懇談会でも要望は出ているはずだ。



子育て支援ですこやかな成長を

質 若年層に目を向けた施策を

答 参画の場、施策を見出し進める

丸岡 茂

質問 かつて児童定住対策という施策があったが、現在は若年層に向けた施策が全くといっていいほどない。

色々な場面に、「若い」「青年」の字も出てこない。村づくりに、若年層を外した形でよいのかと疑問。

村長 各地区の行事や公民館、消防団での活動もある。女性も活動の場も少ないので、集まる機会をつくればと思う。

登用は無いに近い。私が聞いた限りでは、若者は村政等への関与がなかなかできないながらも、政策に若年層の意見を反映させる必要性を一緒に認めている。



操法大会で若者ががんばる

質問 村の各種審議会等で、二十、三十歳の委員への

質問 村や地域の愛着や関心を持ってもらう事が必要。かつては青年団等があり、そこへ行けば仲間ができた。村の様子も知ることができた。

その後、せめて年一度くらい大勢の若者が一堂に会わせるように、村補助でスキーツアーが行われてきた。現在はどうかしているか。

村長 確かに大切であり、若い人たちの参画の場、施策を見出して進めていきたい。

教委事務局長 現在も続いているが、参加者は減っている。村の補助は十四年度に打ち切った。

質 入札制度の更なる改善を

答 具体案の作成検討していく

唐澤 啓六

質問 平成十六年度村発注の百万円以上の公共工事について、①落札率が九十八%以上の契約件数は、②入札回数が二回となつた場合、一回目と二回目と同一の業者が最低価格を入れた件数は。

総務課長 ③六十二件中、九十八〜九十九%以上が十六件、九十九%以上が三十六件である。

④三十件を抽出調査した結果、全ての入札で同一の業者が最も低い入札価格となっている。

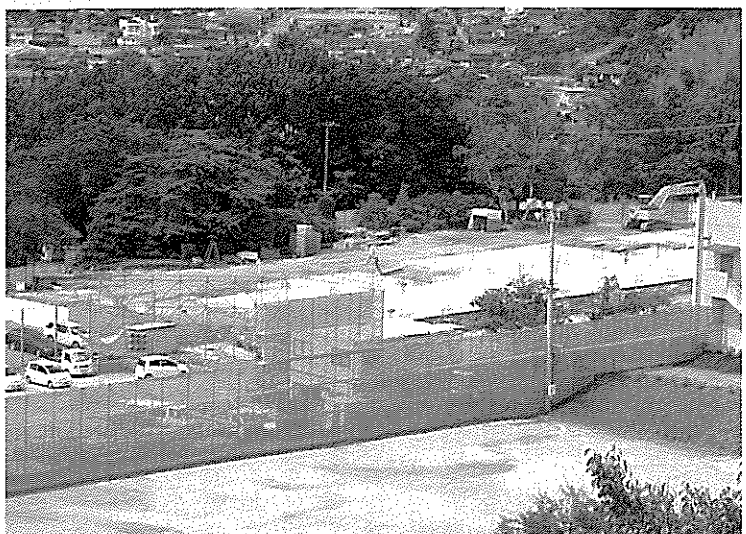
質問 行政経費の節減と良質な施行、加えて業者の経営を守るという課題を実現していく入札制度の改善は、総務省の「新行革指針」でも求められている。十六年度の入札結果から何を改善すべきか、組織的な研究が必要である。中学

校改築工事入札の際とり入れた新しい方式を今後も続けていくのか、又村の広報で入札状況を公開しているが、予定価格も公開すべきである。

村長 委員会でもあり形式ばらずにお任せでも良いと考

質問 環境対策と行政経費という両面から夏の軽装（フーネクタイ・ノー上着）へのとりくみが必要と考

村長 個人差もあり形式ばらずにお任せでも良いと考



入札制度が話題となった中学校建設現場

格の広報での公開は紙面の都合がつけば載せて

質問 今後の豊丘村政の運営には、かつての様な県や国の施策を黙然と実行して

また前年度を踏襲しさえすればと言う従来の安易な考え方は、これからの地方



新しい路線バスの乗り心地は?

自治体が向かえようとしている難局を前にして、住民の期待に応える事は出来ない。

村長は昨年度から行政評価委員会を立ち上げている。今後の行政を機能的に運営する為にも行政評価システムは大変重要な意味合いを含んでいると言える。

行政評価委員会が少しでも有効に機能するためには、委員をはじめ、理事者、職員を中心に、行政評価を学ぶ必要がある。コンサルタントを導入してでも本

物の行政評価を学ぶ必要性があるのではないか。

村長 行政評価も、三年目を向かえより充実させて行きたい。この作業を通じて行政内部の効率化や説明責任、意識改革の推進にも役立つと考えている。県や国の地域振興アドバイザー制度、インターン事業など同じく勉強に対する予算は持っている。積極的にやってみよう。

下平 喜隆

議員定数の研究が始まった。いち早く収入役を議会の意向で廃止した豊丘とすれば議員定数も積極的に削減するのがスジだと考

村長 まったく同感だ。

シリーズ「私、がんばっています」

今回の「私、がんばっています」は御夫婦でそれぞれの好きな道をお互いに理解し助け合いながら頑張っている佐原の、木下以知夫さん、恵子さんを紹介する。

今回お訪ねした木下以知夫さん宅は佐原の柳久保線の脇の静かな山の中にあつた。木下以知夫さん(五十六才) 恵子さん(五十三才) は十八年前に飯田

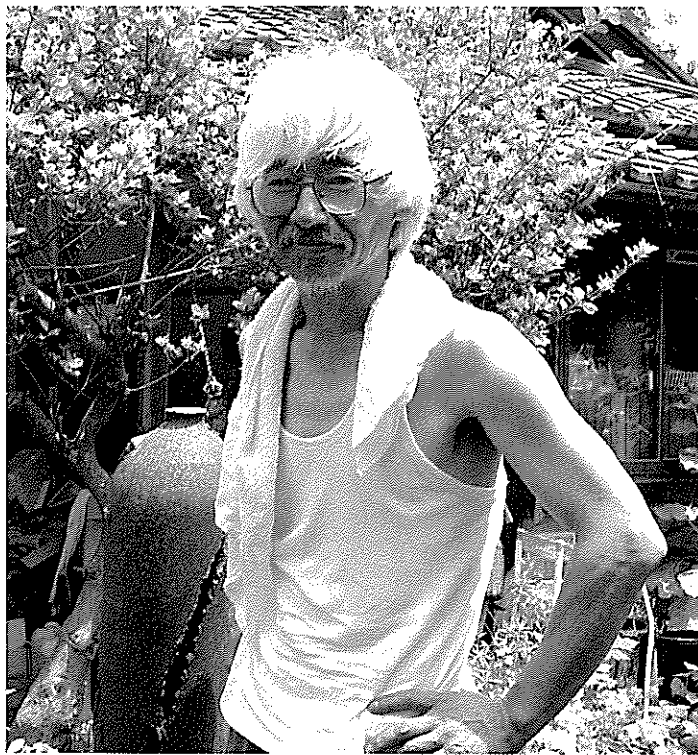
私の一言

現代の社会にもそれ以上の悪役人がいるのである。外務省、年金庁、公団、悪を懲らしめ

役人って何んだ？

武 宮下 年中金を自分達の金だと勘違いし、湯水のごとく使

に至っている。以知夫さんは下市田にある岡谷酸素に勤めるかたわら、休日



創作活動に汗を流す木下以知夫さん

編集後記

●豊丘村の議会に於ては、従来の三委員会から二委員会に移行して現在活動している。十四名での構成としては、これが適正であろう。今まで以上により

●議員定数研究委員会も発足し、七名の委員で活発な論議を展開している。豊丘村の適正規模がどれ位なのか、議会活動に取り組む個々の考え方の相違等

- 編集委員長 川野 孝子
副委員長 北澤 貢
委員 松井 尚子
委員 下平 喜隆
委員 菅沼 明人
委員 吉川 玲